

1 企画展

没後70年 木村武山の芸術

会期 平成23年11月1日(火)～12月4日(日)

主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館

後援：笠間市，笠間市教育委員会

NHK水戸放送局

協賛：株式会社 常陽銀行

ポスター B2, B3

チラシ A3(二つ折り)

図録 287×231mm 176頁

編集・発行 茨城県天心記念五浦美術館

入場者数 17,853人

観覧料 一般600(500)円 / 高大生400(300)円

小中生200(150)円

()内は20名以上の団体料金

11月13日(日)まで入館無料

出品点数 日本画69点 資料3点

内容解説

笠間出身の日本画家木村武山(1876-1942)は、明治38年日本美術院の北茨城・五浦移転に際し岡倉天心に従い移住、ここで横山大観、下村観山、菱田春草ら五浦の作家とともに研鑽を積み、その芸術を大きく開花させた。さらに大正3年天心の一周忌を機に日本美術院が再興されると、昭和17年に没するまでその中心画家として活躍するなど、天心による日本画の近代化の一翼を担った画家である。しかし、大観や観山らの陰に隠れてこれまで正当な評価を得られなかったのは、多彩な武山芸術がその幅広さゆえに全体像をとらえにくかったことが大きいといえよう。

この展覧会では、「歴史画」「花鳥画」「仏画」「障壁画」の4つのテーマに分けて武山芸術を俯瞰的かつ立体的に紹介し、その全体像のみならず神髄まで浮き彫りにした。再興院展出品作をはじめとする初期から晩年までの代表作69点による回顧展は、これまでにない大規模な展覧会となった。

担当 中田智則(主任学芸員)

関連事業

大日堂障壁画特別公開

期日 11月1日(火)～12月4日(日)

会場 笠間市・大日堂

文化講演会「温故知新 天心に始まる日本画の模写と創作」

講師 荒井 経(東京藝術大学大学院准教授・日本画家)

日時 11月23日(水・祝) 午後1時30分～

会場 講堂

日本画体験実技講座

「盛り上げ彩色で描く 琳派の文様を生かして」

講師 並木秀俊(日本美術院院友・第16回天心記念茨城賞受賞)

日時 11月19日(土)午前10時～午後4時30分

20日(日)午前10時～午後4時(2日間)

会場 講座室

学芸員によるギャラリートーク

担当 中田智則(主任学芸員)

日時 11月13日(日)午後1時30分～2時30分

11月26日(土)午後1時30分～2時30分

会場 展示室A・B・C

再開記念絵はがき(武山作品)プレゼント

日時 11月1日(火), 2日(水), 3日(木・祝)

(各日先着100名)

協賛 株式会社 伊勢基本社

関連記事

・茨城県天心記念五浦美術館, 11月1日「木村武山展」で復興再開へ

10月1日【新美術新聞】

・第1弾企画展「木村武山の芸術」来月1日、再開(末武奏子)

10月22日【茨城新聞】

・武山の日本画12点初公開 天心美術館 再開第一弾

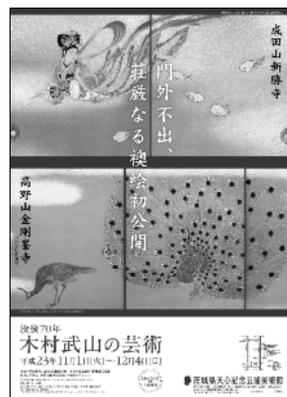
10月25日【読売新聞】

・木村武山の芸術 茨城県天心記念五浦美術館

10月27日【両毛新聞】



図録



ポスター B2



ポスター B3



チラシ A3 二つ折り

- ・被災の五浦美術館 来月8ヶ月ぶり再開 第1弾「木村武山」の企画展(臼井真)
10月27日【毎日新聞】
- ・「郷土作家」木村武山 画業を回顧
10月28日【朝日新聞】
- ・成田山所蔵の木村武山作品 初展示
11月1日【成田山だより「智光」598号】
- ・県五浦美術館が再開 木村武山展開幕 「被災者の安らぎに」(末武奏子)
11月2日【茨城新聞】
- ・美・コレクション 木村武山「阿房劫火」色彩、構成力が醸す臨場感 (岸桂子)
11月9日【毎日新聞】
- ・記者手帳(倫)
11月15日【茨城新聞】
- ・吐玉泉 常陽銀行による図録寄贈に関する記事
11月15日【茨城新聞】

- ・木村武山没後70年展 華麗な美 12点初公開(末武奏子)
11月17日【茨城新聞】
 - ・没後70年 木村武山の芸術 武山芸術の神髄に迫る
11月21日【新美術新聞】
 - ・文化 被災地 公立美術館の転機 茨城県天心記念五浦木村武山展で郷土に光(高野清見)
11月24日【読売新聞】
 - ・金曜アート ミュージアムノート 茨城県天心記念五浦美術館
11月25日【信濃毎日新聞】
 - ・いばらき春秋
12月3日【茨城新聞】
- 関連放送**
- ・みんなの教育
10月22日【茨城放送】
 - ・スクーピーレポート
11月1日【茨城放送】

● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	初出展覧会	所蔵先
【プロローグ】						
1	花鳥図	明治21	紙本・彩色・軸装	128.1×31.3		笠間稲荷美術館
2	梅に茶器図	明治21	紙本・彩色・軸装	128.1×31.3		笠間稲荷美術館
3	連山紅葉瀑布の図	明治25	絹本・彩色・軸装	127.5×54.4		個人
4	高倉帝敵島行幸	明治29	絹本・彩色・軸装	75.3×147.6	東京美術学校卒業制作	東京藝術大学
5	富士図	明治33頃	絹本・彩色・軸装	109.0×41.3		個人
6	蓬萊	明治33頃	絹本・彩色・軸装	112.2×41.3		個人
7	海浜図	明治36頃	絹本・彩色・額装	32.8×88.3		個人
【歴史画】						
8	貴紳觀財図	明治33~34頃	絹本・彩色・軸装	119.8×49.5		茨城県近代美術館
9	熊野	明治35	絹本・彩色・軸装	144.0×240.0	第12回日本絵画協会第7回 日本美術院連合絵画共進会	茨城県近代美術館
10	林和靖	明治35頃	絹本・彩色・額装	125.0×49.0		龍泉寺美術館
11	配所の月	明治36	絹本・彩色・軸装	176.0×100.0	第14回日本絵画協会第9回 日本美術院連合絵画共進会	個人
12	塞翁駒(新渡戸稲造賛)	明治36頃	絹本・墨画彩色・軸装	108.4×37.6		個人
13	旧都の月	明治36頃	絹本・彩色・軸装	121.6×48.2		個人
14	小楠公	明治36頃	紙本・彩色・軸装	140.3×64.8		茨城県近代美術館
15	保昌弄笛図	明治36~37頃	絹本・彩色・軸装	125.0×54.8		個人
16	小督	明治36~37頃	絹本・彩色・軸装	123.0×49.6		個人
17	伊弉册剛伎・伊弉册美命	明治37~39頃	絹本・彩色・軸装	118.3×49.2		笠間稲荷美術館
18	堀河の静	明治38頃	絹本・彩色・軸装	123.2×56.8		横浜美術館
19	唐美人	明治39頃	絹本・彩色・軸装	126.5×51.2		個人
20	日本武尊	明治39~40頃	絹本・彩色・軸装	124.7×33.7		個人
21	阿房劫火	明治40	絹本・彩色・軸装	141.4×241.0	第1回文展	茨城県近代美術館
22	義家勿来関	明治40~41頃	絹本・彩色・軸装	120.3×50.7		個人
23	祇王祇女	明治41	絹本・彩色・軸装	179.0×97.0	国画玉成会展覧会	永青文庫
24	神武天皇	大正6~7頃	絹本・彩色・軸装	150.3×69.3		岩下記念館

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	初出展覧会	所蔵先
25	鉢の木	大正9～10頃	絹本・彩色・軸装	139.0×50.9		個人
26	西行	大正9～10頃	絹本・彩色・軸装	134.6×49.5		個人
27	光明皇后	大正10	絹本・彩色・軸装	187.0×85.3	再興第8回院展	財団法人野間文化財団
28	平重盛	昭和10	紙本・彩色・額装	210.3×140.4	茨城会館開館記念美術展	龍泉寺美術館
29	英姿	昭和10	絹本・彩色・軸装	195.5×104.5	茨城会館開館記念美術展	茨城県近代美術館
30	神武天皇	昭和15	絹本・彩色・軸装	219.0×112.0		笠間稲荷美術館

【花鳥画】

31	烏柑橘・鶯に山鳩	大正元頃	絹本・彩色・屏風二曲 一双	各161.4×161.2		笠間稲荷美術館
32	イソップ物語	大正元～2頃	絹本・彩色・屏風二曲 一双	各169.0×182.0		茨城県近代美術館
33	石南花 おかめいんこ	大正2頃	絹本・彩色・軸装	124.1×50.8		個人
34	小春	大正3	絹本・彩色・屏風六曲 一双	各176.6×378.8	再興第1回院展	国立大学法人 茨城大学
35	柏二鶴	大正5頃	絹本・彩色・軸装	126.8×42.1		重林寺
36	扇面散らし図屏風	大正5頃	紙本・彩色・屏風六曲 一双	各154.6×362.4		笠間稲荷美術館
37	孔雀	大正6	絹本・彩色・軸装	151.5×70.4	第1回日本美術院同人作品 展覧会	群馬県立近代美術館
38	日盛り	大正6	絹本・彩色・屏風六曲 一双	各166.3×372.2	再興第4回院展	福井県立美術館
39	黒猫	大正6頃	絹本・彩色・軸装	127.2×41.5		茨城県近代美術館
40	白菊図屏風	大正6頃	絹本・彩色・屏風六曲 一双	各175.6×375.6		個人
41	秋草之図	大正6～7頃	絹本・彩色・軸装	142.8×56.6		こまき 恵氏
42	立葵	大正9～10頃	絹本・彩色・軸装	133.6×49.7		茨城県近代美術館
43	夏の朝	大正9～10頃	絹本・彩色・軸装	134.4×55.9		個人
44	秋草之図	大正14頃	絹本・彩色・軸装	128.4×41.5		個人
45	鶴	昭和7	絹本・彩色・軸装	138.8×50.6		個人
46	烏骨鶏	昭和8	絹本・彩色・屏風二曲 一隻	171.0×170.0	第6回茨城美術展覧会	茨城県近代美術館
47	烏骨鶏	昭和8頃	紙本・彩色・屏風二曲 一双	各168.0×170.5		笠間稲荷美術館

【仏画】

48	不動	大正5	絹本・彩色・軸装	176.0×84.0	再興第3回院展	笠間稲荷美術館
49	法然上人	大正6	絹本・彩色・軸装	166.5×82.4	再興第4回院展	茨城県近代美術館
50	観音勢至	大正6頃	絹本・彩色・軸装（対 幅）	各143.5×51.0		重林寺
51	出山釈迦	大正6～7頃	絹本・彩色・軸装	155.0×70.0		水戸美術
52	弥陀来迎	大正8	絹本・彩色・屏風六曲 一双	各162.7×356.8	再興第6回院展	西山浄土宗 総本山光明 寺
53	弥陀来迎	大正9～10頃	絹本・彩色・軸装	133.4×44.0		個人
54	慈母観世音	大正11	絹本・彩色・軸装	186.5×85.0	第8回日本美術院試作展	長野県信濃美術館
55	観音	大正12	絹本・彩色・軸装	169.6×70.8	第1回茨城美術展覧会	財団法人野間文化財団
56	慈母観音	大正14	絹本・彩色・軸装	173.6×71.6	第2回茨城美術展覧会	財団法人野間文化財団
57	弁財天	大正15	絹本・彩色・軸装	181.1×85.0	再興第13回院展	茨城県近代美術館
58	成道の釈迦	昭和7～10頃	絹本・彩色・軸装	125.1×50.7		個人
59	虚空蔵菩薩	昭和7～10頃	絹本・彩色・軸装	123.0×33.4		個人
60	観世音寺炎上之図	昭和9	絹本・彩色・軸装	204.0×96.1	再興第21回院展	横浜美術館
61	慈母観音	昭和9頃	絹本・彩色・軸装	142.1×57.6		個人
62	不空羼索菩薩	昭和10	絹本・彩色・額装	215.0×101.0	茨城会館開館記念美術展	個人
63	不動明王（模写）	昭和10	紙本・彩色・軸装	136.0×69.4		個人
64	聖観世音菩薩	昭和15頃	絹本・紺地金泥・軸装	124.8×51.0		個人
65	観世音菩薩（亀山弘應 賛）	昭和15～16頃	絹本・墨画・軸装	116.6×36.2		個人

No.	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	初出展覧会	所蔵先
【障壁画】						
66	新書院襖絵「孔雀図」	大正4	紙本・彩色・襖絵 (4面)	各171.2×116.3		高野山金剛峯寺
67	須磨御殿彩色杉戸絵					
	-1表「夏草図」	大正7頃	杉戸・彩色(4面)	各198.5×148.5		個人
	-1裏「八つ手・篠竹図」	大正7頃	杉戸・彩色(2面)	各198.5×148.5		個人
	-2表「向日葵図」	大正7頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0		個人
	-2裏「秋草図」	大正7頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0		個人
	-3表「白菊図」	大正7頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0		個人
	-3裏「秋草図」	大正7頃	杉戸・彩色(2面)	各199.0×148.0		個人
68	厨子(笠間・大日堂安置)	昭和10	木・彩色	高109.5 幅 83.0 奥行77.0		個人
69	奥殿襖絵「天人奏楽」	昭和12	紙本・彩色・襖絵 (6面)	各174.3×125.0 (天女図・2面) 各174.3×128.4 (飛天図・4面)		成田山新勝寺
【資料】						
資料-1	東京美術学校課題 画 写生「笹」	明治25	墨・紙	26.0×36.5		個人
資料-2	年賀状「鶴図」	明治36	葉書・彩色	9.1×14.1		個人
資料-3	年賀状「梅図」	明治44	葉書・彩色	14.0×9.0		茨城県天心記念五浦美術館

遠き道展

伝統からの飛翔 日本画のゆくえ

会期 平成24年1月2日(月・振)～2月26日(日)

主催等 主催：茨城県天心記念五浦美術館

遠き道展実行委員会

後援：厚生労働省，文化庁，社会福祉法人日本
ライトハウス，全国盲学校長会，国際口
ターリー第2820地区(茨城)，くずはロー
ターリークラブ，NHK水戸放送局

ポスター B2，B3

チラシ A4

図録 240×255mm 152頁

編集・発行 株式会社生活の友社

入場者数 10,390人

観覧料 一般600(500)円 / 高大生400(300)円

小中生200(150)円

()内は20名以上の団体料金

出品点数 日本画57点

内容解説

1990年代以降の公募団体展出品作あるいはコンクールでの受賞作を中心に、41作家による日本画57点を展示し、現代日本画の現況を概観するとともに、たゆみない挑戦から生み出される多彩な表現の魅力を紹介した。また、視覚に障がいのある方にも平面鑑賞を楽しんでいただけるよう、作家本人の吹き込みによる音声ガイドや絵画作品の石膏レリーフ、触ってもよい日本画などを作成し、様々な絵画鑑賞の機会提供に取り組んだ。

担当 稲葉睦子(主任学芸員)

関連事業

出品作家によるアーティスト・ギャラリートーク

(1)日時 1月7日(土)午後2時-

参加作家 土屋禮一，宮いつき，依田万実

(2)日時 1月21日(土)午後2時-

参加作家 岡村桂三郎，坂本藍子，高橋天山，
武田州左，仲裕行，那波多目功一，
西田俊英，福井爽人

みつろうペンワークショップ & 鑑賞ガイドツアー-

日時 1月21日(土)午後1時-3時 30分

講師 栗田晃宣(香川県立盲学校教諭)，田中隆(有限会
社安久工機，蜜蝋ペン開発者)，出品作家

茨城県立盲学校対象 みつろうペンワークショップ & 鑑賞ガ
イドツアー-

日時 1月25日(水)午前10時30分- 午後1時30分

講師 栗田晃宣(香川県立盲学校教諭)，田中隆(有限会
社安久工機，蜜蝋ペン開発者)，出品作家

学芸員によるギャラリートーク

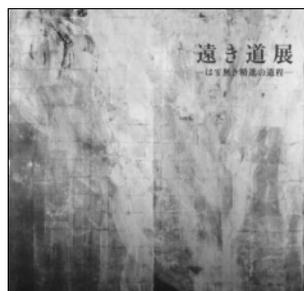
担当 稲葉睦子(主任学芸員)

日時 1月28日(土)午後1時30分- 午後2時30分

2月19日(日)午後1時30分- 午後2時30分

関連記事

- ・遠き道 伝統からの飛翔 日本画のゆくえ 時代を映す作家たちのメッセージ(稲葉睦子)
12月20日【月刊美術1月号(436号)】
- ・現代の日本画概観する57点 あすから(三次豪)
1月1日【茨城新聞】
- ・五浦美術館に日本画大作57点(臼井真)
1月4日【毎日新聞】
- ・日本画の“今”展望 現代作家41人の表現(三次豪)
1月9日【茨城新聞】
- ・現代日本画の魅力 視覚障害者も体感
1月20日【朝日新聞】
- ・視覚障害者 絵画楽しむ
1月22日【読売新聞】
- ・盲学校生がみつろうペンで絵(臼井真)
1月26日【毎日新聞】
- ・描画の楽しさ実感 県立盲学校児童・生徒 心のイメージ表現(小野寺晋平)
1月28日【茨城新聞】
- ・「遠き道展」全国17美術館の巡回展を終えて(森賢司)
2月20日【月刊美術3月号(438号)】



図録



ポスター B2



ポスター B3
96



チラシ A4

関連放送

・スクーピーレポート

1月2日【茨城放送】

・ほっとかわらばん

1月15日・16日【ケーブルテレビJWAY】

・みんなの教育

1月7日【茨城放送】

・おでかけ情報

2月17日【NHK】

● 出品作品一覧

	作者名	作品名	制作年	形状	寸法(縦×横)cm	出品展
1	浅野 均	過ぎ行く時に	1984(昭和 59 年)	額装	268×170	第 4 回天展
2	浅野 均	寄り添う樹	1994(平成 6 年)	額装	163×130	第 20 回春季創画展 文化庁 DOMANI・明日展
3	荒井 経	景色 06 Nov.-1	2007(平成 19 年)	屏風六曲一隻	180×360	個展
4	稲元 実	21st C 水の星	2000(平成 12 年)	額装	220×170	第 32 回日展
5	梅原 幸雄	神灯に包まれて	1992(平成 4 年)	額装	214×169.8	再興第 77 回院展
6	梅原 幸雄	線香花火	1993(平成 5 年)	額装	215×169.8	再興第 78 回院展 文化庁現代美術選抜展
7	梅原 幸雄	淡雪	1998(平成 10 年)	額装	185.5×366	再興第 83 回院展
8	梅原 幸雄	花筏	2001(平成 13 年)	額装	182×546	再興第 86 回院展 文化庁現代美術選抜展
9	岡村 桂三郎	白澤 04-1	2004(平成 16 年)	パネル屏風	225×1080	個展
10	岡村 桂三郎	迦楼羅 07-2	2007(平成 19 年)	パネル屏風	295×480	個展
11	小田野 尚之	あいさつ	2006(平成 18 年)	額装	170×215	再興第 91 回院展
12	尾長 良範	zone	2002(平成 14 年)	額装	181.8×227.3	第 29 回創画展 文化庁現代美術選抜展
13	加藤 晋	明日吹く風	1991(平成 3 年)	額装	187×230	第 23 回日展 文化庁現代美術選抜展
14	加藤 晋	空の底	2001(平成 13 年)	額装	227×162	第 33 回日展
15	加藤 東一	祈り	1996(平成 8 年)	額装	130×206	第 28 回日展 第 20 回日本秀作美術展
16	川崎 麻児	問い	1997(平成 9 年)	額装	185×185	第 29 回日展 文化庁 DOMANI・明日展
17	岸野 圭作	白韻	1998(平成 10 年)	額装	230×157	第 30 回日展
18	北田 克己	月の汀	1999(平成 11 年)	額装	170×240	日本画の新世界展
19	小嶋 悠司	穢土	1993(平成 5 年)	額装	100×200	個展
20	小谷津 雅美	桜韻	2006(平成 18 年)	額装	152×220	再興第 91 回院展
21	小谷津 雅美	花遊悠	2008(平成 20 年)	額装		再興第 93 回院展
22	坂本 藍子	影の果て	2007(平成 19 年)	額装	130.3×324	個展
23	清水 由朗	氷塔	1998(平成 10 年)	額装	214×169	再興第 83 回院展 文化庁現代美術選抜展
24	清水 由朗	貿易風	2006(平成 18 年)	額装	180×232	再興第 91 回院展
25	新恵 美佐子	花-	2005(平成 17 年)	額装	227×363	ポーラ新鋭展
26	仙崎 誠	武蔵野	2005(平成 17 年)	額装	170×209	第 37 回日展
27	高橋 天山	献灯	1992(平成 4 年)	額装	214×169.8	再興第 77 回院展 文化庁現代美術選抜展
28	高橋 天山	春宵一刻	2008(平成 20 年)	屏風四曲一隻	170×350	個展
29	武田 州左	光の采・662	2006(平成 18 年)	額装	194×260.6	第 33 回創画展
30	土屋 禮一	黒い沼	2002(平成 14 年)	屏風六曲一隻	172×435	個展
31	土屋 禮一	椿樹	2005(平成 17 年)	額装	198×186	第 37 回日展
32	仲 裕行	旅立ち	2002(平成 14 年)	屏風六曲一隻	214×169	再興第 87 回院展
33	中町 力	MONTPARNASSE	2003(平成 15 年)	額装	194×194	第 35 回日展 文化庁現代美術選抜展
34	那波多目 功一	惜春	2007(平成 19 年)	屏風六曲一隻	217×172	再興第 92 回院展
35	西田 俊英	酒場	1998(平成 10 年)	額装	215×169.8	再興第 83 回院展
36	西田 俊英	華孔雀	2003(平成 15 年)	額装	182×364	再興第 88 回院展
37	西田 真人	静まる刻	1998(平成 10 年)	額装	175×223	第 30 回日展 文化庁現代美術選抜展
38	西野 陽一	黒潮	1998(平成 10 年)	額装	193.9×519.7	第 1 回ネクスト展
39	長谷川 喜久	シーソー	2005(平成 17 年)	額装	195×195	第 37 回日展
40	伴戸 玲伊子	いびつなかたちをした土地	2000(平成 12 年)	額装	181.8×227.3	第 27 回創画展 文化庁現代美術選抜展
41	平川 敏夫	秋韻	2003(平成 15 年)	屏風二曲一隻	183×183	
42	平山 英樹	風の門	2007(平成 19 年)	額装	181.8×227.3	第 34 回創画展

	作者名	作品名	制作年	形状	寸法(縦×横)cm	出品展
43	福井 爽人	明	2001(平成 13 年)	額装	220×186	再興第 86 回院展
44	福井 爽人	星のオアシス	2004(平成 16 年)	額装	165×285	再興第 89 回院展
45	マコト フジム ラ	12th Night	2008(平成 20 年)	屏風二曲一隻	177×176	
46	マコト フジム ラ	Golden Fire	2008(平成 20 年)	パネル	178×267	
47	間島 秀徳	Kinesis No.211	2004(平成 16 年)	パネル	160×460	超日本画宣言展
48	松生 歩	臨在	1995(平成 7 年)	額装	各 180×40	個展
49	松本 祐子	春の始まる時	2000(平成 12 年)	額装	169.8×215	第 27 回創画展
50	宮 いつき	晩夏	2003(平成 15 年)	額装	181.8×227.3	第 30 回創画展
51	宮 いつき	ヴォカリーズ	2004～06 (平成 16～18 年)	額装	220×510	第 31・32 回創画展, 個展
52	山田 毅	底引きの網	2004(平成 16 年)	額装	178×220	第 36 回日展
53	吉川 優	風神雷神之図	2005(平成 17 年)	屏風四曲一双	180×640	個展
54	吉村 誠司	遊園	1992(平成 4 年)	額装	169.8×214	再興第 77 回院展
55	依田 万実	夜明け前	1994(平成 6 年)	額装	225×185	第 26 回日展
56	依田 万実	Mother Ship	2003(平成 15 年)	額装	89.4×260.6	文化庁 DOMANI・明日展
57	依田 万実	Moon Rabbit - 風の谷を越えて	2008(平成 20 年)	額装	181.8×227.3	

作品は全て個人蔵

2 所蔵品展

概要

茨城県近代美術館所蔵作品から日本画を中心に、その都度テーマを設けて選び出し、展示室Aで所蔵品展として年2回展示を行った。

主催 茨城県天心記念五浦美術館

会期及びテーマ、入場者数

会期	テーマ	人数
12月9日(金)～12月25日(日)	平成の日本画 - 天心記念茨城賞を中心に	1,720
3月2日(金)～4月8日(日)	特別展示 甦る五浦 受け継がれし天心のこころ	7,224
合計		8,944

平成24年3月31日までの入館者を集計しています。

観覧料

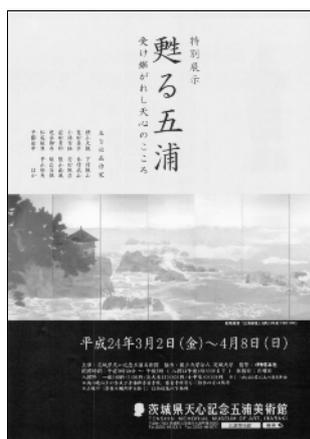
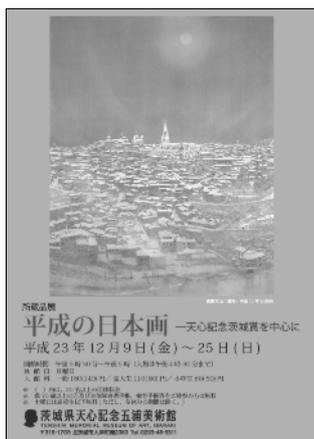
一般 180(140)円 / 高大生 110(80)円 / 小中生 80(50)円

()内は20名以上の団体料金

満70歳以上の方及び身体障害者手帳、療育手帳等をお持ちの方は無料

土曜日は高校生以下無料(冬休み・春休みの期間を除く)

所蔵品展チラシ (各A4)



関連記事

- ・平成の日本画展 茨城県天心記念五浦美術館
12月5日【両毛新聞】
- ・震災1年、五浦美術館特別展 来月2日から平山作品など22点
2月8日【読売新聞】
- ・手軽に行けるカルチャードライブ 近県美術館・博物館だより
甦る五浦 受け継がれし天心のこころ
2月18日【両毛新聞】
- ・新たな活力に 五浦美術館で特別展 日本画や木彫の22点
(臼井真)
2月29日【毎日新聞】
- ・五浦復興願い特別展 来月8日まで 日本画や木彫紹介
3月15日【茨城新聞】
- ・天心の弟子 作品一堂に
3月24日【朝日新聞】
- ・特別展示 甦る五浦 受け継がれし天心のこころ
復興に向けての新たな活力へ(野内治)
3月11日【新美術新聞】

関連放送

- ・みんなの教育
12月10日【茨城放送】

所蔵品展 平成の日本画 - 天心記念茨城賞を中心に 平成 23 年 12 月 9 日(金) ~ 12 月 25 日(日)

画家は、日本画の伝統を踏まえつつ、日々新しい表現や技法などを模索し続けている。風景を主題にして移りゆく季節や内在する自然の神秘性を表現したもの、人間の営みを深く見つめて描いたものなど、画家の個性にあふれ、清新で多彩な作品が生み出されている。

本展ではこれらの日本画を、将来を嘱望される画家の育成と日本美術の発展に寄与することを目的に、茨城県が平成 7 年から再興院展に提供している「天心記念茨城賞」受賞作の他、院展の重鎮として現在も活躍を続ける郷倉和子、鎌倉秀雄らの院展出品作を含む日本画 19 点により紹介した。

出品目録

	作者名	生年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	郷倉 和子	1914 -	爽春の朝	平成17年	紙本・彩色・屏風 四曲一隻	150.0×216.0	作者寄贈
2	福王寺 法林	1920 -	白光のヒマラヤ	平成3年	紙本・彩色・額装	200.0×728.0	作者寄贈
3	鎌倉 秀雄	1930 -	耀	平成10年	紙本・彩色・額装	194.0×255.5	作者寄贈
4	小谷津 雅美	1933 -	終宴	平成10年	紙本・彩色・額装	218.5×173.5	第4回天心記念茨城賞
5	川瀬 磨士	1941 -	山	平成9年	紙本・彩色・額装	174.8×220	第3回天心記念茨城賞
6	菊川 三織子	1944 -	花影	平成7年	紙本・彩色・額装	210.0×168.0	第1回天心記念茨城賞
7	倉島 重友	1944 -	川風	平成13年	紙本・彩色・額装	214.6×169.8	第7回天心記念茨城賞
8	齋藤 満栄	1948 -	秋晨	平成12年	紙本・彩色・額装	170.0×215.0	第6回天心記念茨城賞
9	西田 俊英	1953 -	寂光	平成8年	紙本・彩色・額装	218.0×172.0	第2回天心記念茨城賞
10	高橋 天山	1953 -	清夜	平成11年	紙本・彩色・額装	224.5×179.5	第5回天心記念茨城賞
11	小田野 尚之	1960 -	見送る人	平成14年	紙本・彩色・額装	169.8×214.8	第8回天心記念茨城賞
12	國司 華子	1960 -	忘れ物ノ行方	平成17年	紙本・彩色・額装	225.0×180.0	第11回天心記念茨城賞
13	清水 由朗	1961 -	望楼	平成20年	紙本・彩色・額装	171.0×364.0	寄託
14	井手 康人	1962 -	奏園	平成18年	紙本・彩色・額装	221.0×175.5	第12回天心記念茨城賞
15	岡田 眞治	1963 -	冬のベネチア	平成15年	紙本・彩色・額装	226.0×182.0	第9回天心記念茨城賞
16	宮北 千織	1967 -	うつろふ	平成16年	紙本・彩色・額装	170.0×215.0	第10回天心記念茨城賞
17	岩永 てるみ	1968 -	La vue d'Orsay	平成19年	紙本・彩色・額装	218.0×173.0	第13回天心記念茨城賞
18	鈴木 恵麻	1972 -	風模様	平成21年	紙本・彩色・額装	170.5×215.0	第15回天心記念茨城賞
19	川瀬 伊人	1973 -	愁思の沼	平成20年	紙本・彩色・額装	211.0×169.5	第14回天心記念茨城賞

特別展示 甦る五浦 受け継がれし天心のこころ 平成 24 年 3 月 2 日(金) ~ 4 月 8 日(日)

当館が立地する北茨城市は、東日本大震災により甚大な被害を受け、当館も半年以上にわたる休館を余儀なくされた。岡倉天心によって建てられ、五浦のシンボルとして多くの人々に愛されてきた六角堂も津波により流出してしまっただが、平成 24 年 4 月 17 日に創建当時の姿に復元して再建された。

震災から 1 年目となる時期に開催する本展覧会は、茨城県近代美術館と茨城大学のコレクションの中から、天心の掲げた理念のもと日本画の発展に尽くした横山大観から平山郁夫まで、五浦にゆかりの深い日本美術院の作家たちが描いた日本画の名品を中心に展示した。五浦の海と六角堂で瞑想にふける天心を六曲一双屏風の大パノラマに描いた松尾敏男「五浦潮音」など五浦を題材に描いた作品や平櫛田中の木彫「五浦釣人」なども展示し、震災によって失われた五浦の風景に思いを馳せ、復興に向けての新たな活力にしていくことを目的とした。

出品目録

	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
1	小川芋銭	1868-1938	積雨収(画稿)	昭和5年	紙本・淡彩・軸装	42.5×94.5	寄託
2	横山大観	1868-1958	夕立	明治35年	絹本・彩色・軸装	116.0×50.0	
3	横山大観	1868-1958	峠の夕	明治36年	絹本・彩色・軸装	40.5×65.5	
4	横山大観	1868-1958	流燈	明治42年	絹本・彩色・軸装	143.1×51.5	
5	横山大観	1868-1958	五浦スケッチ	大正5年	紙本・墨画	18.3×103.5	
6	平櫛田中	1872-1979	五浦釣人	昭和37年	木彫	高さ238.0	国立大学法人 茨城大学蔵
7	下村観山	1873-1930	大原之露	明治33年	絹本・彩色・軸装	248.0×171.0	

作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
8 菱田春草	1874-1911	落葉	明治42年	絹本・彩色・屏風 二曲一双	各152.8× 151.8	
9 木村武山	1876-1942	五浦の朝	明治39～40 年頃	絹本・彩色・軸装	46.7×51.6	
10 富田溪仙	1879-1936	長江鶴船	大正8年頃	紙本・淡彩・屏風 六曲一双	各171.0× 361.0	
11 小林古径	1883-1957	少女	大正13年頃	絹本・彩色・軸装	123.0×42.0	
12 安田靉彦	1884-1978	羅浮仙	昭和10年頃	絹本・彩色・軸装	129.5×50.8	
13 前田青邨	1885-1977	鶴飼	昭和8年頃	紙本・彩色・額装	51.0×155.0	
14 堅山南風	1887-1980	雨後	昭和13年	絹本・墨画淡彩・ 額装	118.0×133.0	
15 堅山南風	1887-1980	茨城袋田矢祭山画帖	昭和12～36 年	紙本・墨画淡彩・ 画帖	24.5×30.0	
16 児玉素光	1890-1966	常陸五浦真景図	昭和14年頃	紙本・墨画・卷子	66.0×460.0	
17 速水御舟	1894-1935	洛外六題 宇治(習作)	大正6年	紙本・彩色・額装	42.0×100.0	
18 酒井三良	1897-1969	汀	昭和36年	紙本・彩色・額装	103.0×133.0	
19 塩出英雄	1912-2001	五浦	昭和45年	紙本・彩色・屏風 二曲一隻	214.5×270.6	国立大学法人 茨城大 学蔵
20 村田 猛	1918-1999	五浦	平成元年	紙本・彩色・額装	214.1×162.5	
21 松尾敏男	1926-	五浦朝音	平成3年	紙本・彩色・屏風 六曲一双	各169.0× 372.0	
22 平山郁夫	1930-2009	日本美術院血脉図	昭和40年	紙本・彩色・額装	222.0×179.0	国立大学法人 茨城大 学蔵

3 岡倉天心記念室

概要 多方面にわたる岡倉天心の生涯や業績を書簡や遺品など貴重な資料によって紹介するほか、天心の指導を受けて近代日本美術の発展に大きく貢献した五浦の作家たちの作品を紹介した。

(1) 五浦の作家たちの作品展示

茨城県近代美術館等が所蔵する横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山ら五浦の作家たちの作品を選び、年3回の展示を行った。

会期及び出品目録

作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
第1回 平成23年11月1日(火)～12月25日(日)						
1 横山 大観	1868-1958	隠棲	明治35年	絹本・彩色・軸装	120.0×49.0	
2 横山 大観	1868-1958	月満山	昭和12年	絹本・墨画・軸装	65.4×99.3	
3 菱田 春草	1874-1911	菊慈童	明治34年	絹本・彩色・軸装	120×49.8	
4 下村 観山	1873-1930	高士觀瀑	大正8年	絹本・彩色・軸装(対幅)	各142.2×55.3	
第2回 12月27日(火)～平成24年2月29日(水)						
1 横山 大観	1868-1958	山に因む十題 靈峰四 趣・其一春	昭和15年	絹本・彩色・額装	75.2×110.7	
2 下村 観山	1873-1930	雨中鷺	明治41年頃	紙本・墨画・軸装	70×121.3	
3 下村 観山	1873-1930	日の出・雪梅	明治41年頃	絹本・彩色・軸装(対幅)	各108.5×41.0	
4 菱田 春草	1874- 1911	普賢菩薩	明治42年頃	絹本・彩色・軸装	94.5×49.8	

作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法・形状	寸法(縦×横)cm	備考
第3回		3月1日(木)～4月27日(金)				
1 横山 大観	1868-1958	松月雪景	明治37年	絹本・彩色・額装	87.5×50.0	寄託
2 横山 大観	1868-1958	岩礁の鷓	明治37年	絹本・彩色・額装	49.9×87.6	寄託
3 横山 大観	1868-1958	雪影	明治37～38年	絹本・彩色・額装	77.1×53.8	寄託
4 菱田 春草	1874-1911	帰漁	明治37年	絹本・墨画・額装	49.0×73.0	
5 下村 観山	1873-1930	帰獵の図	明治37年	絹本・彩色・額装	79.7×48.9	寄託

資料テーマ展示

天心及び五浦に関わりのあるテーマ に関して調査・研究した内容を、収蔵資料や解説パネルにより紹介した。

テーマ名 早崎稗吉の中国旅行 史跡写真をめぐって ()

期 間 平成22年11月30日(火)～平成24年3月31日(土)

*平成23年3月12日から10月31日までは東日本大震災により休止

内 容 当館では早崎稗吉が撮影したガラス原板 289 点を所蔵しており、中国旅行の際に撮影した史跡や風景と見られる写真も 100 点ほど含まれている。中には岡倉天心による明治 26 年の清国出張随行時の写真もあるが、大半の写真が撮影地、撮影年とも不明となっている。

一方で、近年東京国立博物館が早崎稗吉撮影の写真在所蔵している情報を得て調査したところ、それらの写真の台紙には早崎自筆と思われる撮影地の書き込みがあり、また台紙に貼付された東京帝室博物館(東京国立博物館の前身)の備品票から博物館に所蔵された年度も明らかになった。これらの写真と当館所蔵のガラス原板を比較することで新たに 17 点の撮影地が判明し、早崎の中国での足跡を裏付けることが可能となった。

ここでは、撮影地が新たに判明した早崎稗吉撮影の中国風景の一部を紹介すると共に、中国滞在中の日記や旅券などを併せて展示して、早崎による中国旅行の実情や様々な苦労を押しもなお中国美術の調査に情熱を燃やした早崎の業績の一端に触れた。

展示資料 早崎稗吉日記 明治 37 年(1904)

早崎稗吉日記 明治 38 年(1905)

清国外務部「護照(旅券)」明治 42 年(1909)5月 12 日

早崎稗吉撮影ガラス原板より 中国風景写真 3点(パネルに掲載して紹介)